2022 年 4 月 19 日

フィリップ証券
A Member of PhillipCapital

スターバックス（SBUX）

コスト上昇を背景に値上げ方針を発表。創業者が CEO に暫定復帰、年内に NFT 事業への参入を計画。

ナスダック | 外食 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SBUX:US | REUTERS SBUX.O

- 2022/9期1Q（10-12月）は、売上高が前年同期比19.3％増、営業利益が同28.9％増、純利益が同31.1％増。既存店売上高は同13％増。
- 原材料費の高騰や人件費の上昇を受け、今期の調整後１株利益の成長率を10％以上から8-10％へ下方修正。商品の値上げ方針を発表。
- 実質的な創業者のハワード・シュルツ氏が CEO に暫定復帰。人材や店舗への投資方針に加え、年内に NFT 事業への参入を発表。

What is the news?

2/1発表の2022/9期1Q（10-12月）は、売上高が前年同期比19.3％増の80.50億USD、営業利益が同28.9％増の11.77億USD、純利益が同31.1％増の8.15億USDだった。既存店売上高が同13％増加したことに加え、不採算店舗の閉鎖によるコスト削減が寄与。同社は1Qに484店舗を新規に出店し、12月末の店舗数は前年同期比4%増の34,317店舗と過去最高となった。

セグメント別の1Qの売上高は以下の通り。①北米事業は前年同期比22.6％増の57.32億USD。既存店売上高は同18％増となった。新規店舗が好調だったほか、ライセンス契約先への製品販売増加が貢献した。②海外事業は同11.5％増の18.75億USD。既存店売上高は同3％減だった。中国の既存店売上高が、政府による営業時間制限により14％減少したことが響いたものの、店舗数の増加に伴いライセンス収入やライセンス契約先への製品販売が増加した。③コーヒー豆・粉の販売やRTD製品（購入後そのまますぐ飲める缶やボトルなどに入った製品）を展開するチャネル開発事業は、同12.3％増の4.17億USD。食品世界大手ネスレとの国際的な業務提携等による商品拡大や、RTD製品事業の成長が貢献。④その他の法人事業は同22.4％増の25百万USDとなった。

How do we view this?

同社は調整後１株利益の今期の成長率見通しを10％以上から8-10％に引き下げるとともに、商品価格を引き上げる方針を発表。更に原材料価格の上昇や、労働組合結成による労働条件の見直し圧力が強まる中、同社は2022年4月4日に実質的な創業者ハワード・シュルツ氏が、2022年秋に見込まれる新CEO選任までの暫定CEOとして復帰。2008年に続き2度目の復帰、3度目のCEO就任となる。同氏は自社株買いの一時中止を発表し、株主の短期的な利益よりも、ブランド価値向上のために人材や店舗への投資を優先する方針を示した。

また、同社は2022年にNFT（非代替性トークン）事業に参入すると発表。NFTによるデジタル・イノベーションを計画していることを明らかにした。2022年5月3日には新CEO就任後初の決算発表（2Q）を控えており、同計画の詳細についての発表が注目されるとともに、2008年の復帰時のような、ブランド価値向上を追求した戦略が期待されよう。

業績推移　※参考レート 1USD=126.99円

事業年度	2019/9	2020/9	2021/9	2022/9F	2023/9F
売上（百万USD）	26,509	23,518	29,091	32,715	35,689
純利益（百万USD）	3,599.20	928	4,199	3,762	4,410
EPS（USD）	2.92	0.79	3.54	3.25	3.87
PER（倍）	27.26	100.76	22.49	24.49	20.57
BPS（USD）	-5.26	-6.65	-4.51	-7.19	-8.41
PBR（倍）	-	-	-	-	-
配当（USD）	1.49	1.68	2.29	1.96	2.12
配当利回り（%）	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（USD）	**1.96**	（予想はBloomberg）
終値（USD）	**79.60**	2022/4/18

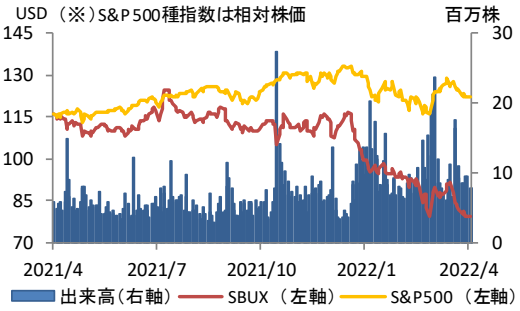
会社概要

1971年にシアトルで開業した世界最大のコーヒーチェーン店。自社ブランドコーヒーの販売を中心に小売店を運営しており、世界中に34,000を超える店舗えお展開する。カタログ販売、スーパー、ネットを通じた販売ほか、傘下の子会社や提携先を通じて、独自ブランドの高級コーヒー、お茶なども提供している。

同社の事業セグメントは、①米国とカナダ直営店およびライセンス契約店を展開する北米事業、②中国、日本、アジア太平洋、ヨーロッパ、中東、アフリカ、ラテンアメリカ、カリブ海地域の直営店およびライセンス契約店を展開する海外事業、③主にネスレとの業務提携のもと、コーヒー豆・粉製品、傘下のシアトルズベストコーヒー製品、スターバックスおよび茶類ブランドのTEAVANAのシングルサーブ製品、フラペチーノやスターバックスダブルショットなどのRTD製品、フードサービス製品等の販売を展開するチャネル開発事業、④その他の法人事業で構成される

企業データ（2022/4/19）

ベータ値	1.10
時価総額（百万USD）	91,563
企業価値=EV（百万USD）	111,260
3ヵ月平均売買代金（百万USD）	927.67



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2022/4）　（%）

1. Vanguard Group Inc	8.58
2. BlackRock	7.17
3. State Street	4.22

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト
山口 亮太
ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。